

パル動物病院

～人と動物の絆～

よりよい関係を目指して

私たちは最先端の診療技術を生かし、地域に密着した動物病院を目標にしております。

◆ 裾野センター病院

静岡県裾野市伊豆島田 843-5

TEL **055-993-3135**

◆ 沼津病院

静岡県沼津市沼北町 1 丁目 5-27

TEL **055-922-6255**

●●●●● 診療時間 ●●●●●

受付時間

◆ 裾野センター病院

全日 午前 9:00 ～ 11:30
午後 14:00 ～ 18:30

◆ 沼津病院

平日 午前 9:00 ～ 11:30
午後 14:00 ～ 18:30
日 午前 9:00 ～ 11:30
木・祝日 休診

●● パルニュース 2023 年 5 月号 ●●

◆ 子猫の遊びによる攻撃行動

◆ 犬の妊娠と出産

●●●●● 専門科診療 ●●●●●

当院では、下記の専門診療をおこなっております。ご希望の方は事前にご予約ください。

◆ 口腔科

奥田 綾子 先生 博士 (歯学)

◆ エキゾチックペット科

霍野 晋吉 先生 博士 (獣医学)

◆ 皮膚科

関口 麻衣子 先生 博士 (獣医学)

◆ 行動治療科

フリッツ 吉川 綾 先生 博士 (獣医学)

◆ 眼科

当院 小野 啓 博士 (獣医学)

当院 都能 敏順

●●●● ウェブサイト ●●●●



pal-ah.jp

子猫の遊びによる攻撃行動

子猫を迎えると、かわいくてついつい甘噛みや引っ掻くことを許してしまいがちです。しかし、子猫もあつという間に成長し、気づいたら人を咬んだり強く引っ掻いたりという行動が定着してしまうことがあります。そこで今回は、子猫の遊びによる攻撃行動が起こる理由や対処についてお話します。

子猫が攻撃する理由

捕食動物である猫は、子猫の時期に狩りの練習をします。動くものを追いかけて、捕まえ、咬み付く練習をします。また、近い月齢の猫同士でじゃれあつて遊ぶことで、咬んだり引っ掻いたりする程度を覚えます。室内で単独で飼育することは、これらのことが飼い主へすべて注がれることになります。

対処の仕方

子猫のうちに人の手や足などを甘噛みしたり引っ掻いたりする機会を与えないようにします。子猫にとっては正常な行動なので、以下にあげるように、別の方法で発散させたり、人との関わり方を教える必要があります。

◇おもちゃで遊ぶ

飼い主と一緒におもちゃで遊んであげることが信頼関係を築く上でも大切です。しかし、子猫が満足するまで十分遊んであげることが大変なので、以下のことも試すとよいでしょう。

- ・ 食べ物を知育玩具や穴をあけたペットボトルに入れて与える
- ・ 上下運動できる場所を作る
- ・ ひとり遊びできるおもちゃは数日ごとに交換し、飽きないようにする

◇人の手足に攻撃してきた時は、動きをやる、隠すなどして相手にしない

飼い主が動くときますます興奮し咬んだり引っ掻いたりするので手足を隠し、動きを止めます。最も効果的なのは、狙っている様子なら攻撃される前に動きを止め、おもちゃなどに注意を向けさせ、攻撃される状況を作らないことです。

◇猫がリラックスしているときに穏やかに触れ合う

撫でようとしたときに攻撃してくる場合、遊び足りていないので、おもちゃを使って十分に遊びます。遊び疲れてゆったりしているときに触るようにします。攻撃してこない時に撫でる練習をすることで、人と穏やかに関わることを学びます。触られることに過敏な場合は好きな食べものを与えながら触る練習をします。

もし深刻な攻撃行動に発展しまった場合は、当院行動治療科にご相談ください。

参考文献

CAP No.373

犬の妊娠と出産

今回は犬の妊娠と出産についてお話します。

性成熟

性成熟とは、雄では造精機能が成熟し、雌と交尾して妊娠させうる状況に達したこと、雌では妊娠・分娩が可能な状況に達したことを指します。犬の性成熟は生後 10-16 ヶ月といわれ、一般に小型犬は大型犬と比較して早い傾向にあります。そして性成熟後、雌犬は 6-10 ヶ月の間隔で定期的に発情を繰り返します。

性周期

犬の性周期は発情前期、発情期、発情休止期、無発情期に分けられます。

発情前期：発情出血の開始から雄犬に交尾を許す期間。外陰部が腫大、充血し、発情出血が起きます。また、動作に落ち着きがなくなり、多飲、多尿になります。

発情期：発情期は雌犬が雄犬に交尾を許す期間であり、犬の排卵は発情期の 3 日目に起きます。

発情休止期：妊娠の有無にかかわらず黄体ホルモンが分泌されます。ホルモンの影響により、個体によっては偽妊娠と呼ばれる状態になります。

無発情期：卵巣が休止している期間です。

交配適期

交配に適した時期は排卵前 48 時間から排卵後 120 時間の約 7 日間とされています。交配適期の判断は膣の粘膜を採取することによってある程度推測が可能です。

妊娠期間

妊娠期間は交配後約 62-64 日です。繁殖を行うのであれば、妊娠期間中の予防接種は推奨できないので、その前に計画的に行っておきましょう。また、フィラリアの予防薬は妊娠中に飲ませて問題ありません。その他薬剤に関しては、獣医師にご確認ください。

妊娠診断

妊娠診断には超音波検査と X 線検査があります。

超音波検査

交配より 24-30 日から胎子の確認が可能です。X 線検査よりも早期に妊娠

の診断が可能であり、心拍を確認することで胎児の生存を確認することが可能です。ただし、胎児数を正確に判定出来ない可能性があります。

X 線検査

母犬の骨盤、胎子の数、体位、大きさなどが確認できます。胎子の骨格は犬でおおよそ妊娠 42-45 日で骨化がはじまるので、この時期から X 線検査が可能になります。ただしこの時期はまだ骨化が不十分なこともあるため、交配後 50 日を過ぎてからの X 線検査をおすすめしています。

出産

分娩数日前から母犬は落ち着きがなくなってきました。分娩の兆候として体温の低下があげられます。犬の平均体温は約 38° C ですが、分娩の半日前には体温が低くなり、そのため体温をあげようとして震えを起こします。また、安心して分娩させるために、分娩の 1 週間位前より出産場所を準備し、母犬が安心する静かな環境作りをしてあげるとよいでしょう。

難産の兆候

- 1 陰陰部から緑のおりものがみられる (胎盤剥離)
- 2 陰部から透明 (あるいは少し緑色) の液体が大量に出た (= 破水) のに、2 時間たっても赤ちゃんが出てこない
- 3 赤ちゃんの体の一部が出ているが、それ以上出てくる様子がない
- 4 体温低下がみられてから 1 日以上たっているのに出産する様子がみられない
- 5 予定日を過ぎても出産しない、体温が下がらない

上記の場合は難産であることが考えられますので、病院に連絡してください。特に (1)-(3) は緊急性が非常に高く重要です。

難産の可能性が高い犬種として、イングリッシュ・ブルドッグ、ボストンテリア、ボクサーをはじめとする短頭種があげられます。これらの犬種は分娩前に母犬の骨盤のサイズと胎児の頭蓋骨のサイズから難産予測が可能です。自然分娩が難しいと判断した場合、帝王切開が必要になります。

また、小型犬でも (特に初産の場合) 難産が起こりやすいため、注意が必要となります。

参考文献

小動物の臨床繁殖産学